

○平成22年度教員免許状更新講習事後アンケート自由記述

科目名：「生きる力」を育むこれからの学校教育

開講日：平成22年8月18日～19日(水・木)

NO.	学校種	回答
1	小学校	楽しく、目からウロコの講義でした。自分の意識を変えることがいかに大切かを感じましたと同時に、それがいかに難しいかも感じました。難しくしているのも自分だとの講義でしたが…
2	中学校	今回の講習は、講師の先生の経験と様々な資料を提供していただき、今後の教員生活に参考となるものとなった。とくに「自分自身を主人公に」ということに感銘した。また、本校でも不登校生徒を抱えているが、今後の参考となり、ありがたかった。何かの機会でもた講師の先生(内沢先生)の話を聞きたいと思った。
3	中学校	これからの学校生活に必要な内容が多かったです。
4	中学校	久しぶりに、納得しました。ありがたかったです。こんな、大学の先生が増えると嬉しいです。あれから、学校で嫌なことがあっても、この講座で習ったことで乗り越えています。ありがとうございました。是非、健康に留意されて、みんなに教えて下さい。よろしくお願いします。
5	高校	教師はまず、楽しい授業を第一に心がけること、を講師自らが実践しておられることに感心いたしました。また、現場で当然のように考えられ、当然のように行われている様々な「教育的行為」が実は生徒のためになっていないばかりか、むしろ事態をより複雑化している、という指摘はとても刺激的で、自分のこれまでの考え方・行動を反省させられることになりました。今の教育のあり方や教師の考え方をじっくり振り返るいい機会になりました。有り難うございました。
6	小学校	内沢達先生、ハンドルネーム「たっちゃん」へ 教員免許状更新講習会を一言で言うならば、「楽しい。そして、とてもためになった」です。講習会第1日目、講義開始2時間前なのにプリントや教材教具等の準備に汗を流す人を演台の前で発見しました。今日講演の先生のなみなみ成らぬ熱意を感じ、どんな話を聴けるのかワクワク感を禁じえませんでした。まず、「仮説実験授業研究会」代表の板倉聖宣氏のことを知りました。その一例として「虹は七色か六色か」というミニ授業を体験しました。予想をたてるどころから、始まりました。楽しい話題でしたが、権威に従って考えることが多い自分に気付かされました。また、自分がおかしいと思ったときは自分の目で、自分の頭で考えよ。そうしてはじめて創造性が高まるのだということを再認識できました。「知覧中いじめ自殺事件」からもたくさんのことを学びました。まず、自殺を防ぐには学校を休む(不登校)という選択肢を残しておくことの重要性を感じました。「子どものために」と思ったことが、「子どものために」になってないことが少なくない。「悪事は善意から」(板倉聖宣)。善かれ(良かれ)と思ってやったことが反対に悪い結果を招いている等々。「子どものために」と考えるのではなく、「子どもの立場で」考えることが大切、心から納得しました。セブン・イレブンでの使用禁句「顧客のために」とリンクして分かりやすかったです。「情けは人のためならず」。自分のために、相手の立場で考える。このことは、一部実践していますが更に磨きをかけていきたいです。また、生活指導は「いい加減」がよい。理想を掲げて妥協する。つまり、「子どもとイイ関係」(「悪くない」関係)が生活指導の最大の目標であることを事例を通して実感できました。生活指導には、問題の「軽重」や優先順位がある。他に害を及ぼす問題行動は「即妨げるが、指導は急がない」等タルソウの思想が生きた事例に接し納得できました。最後にお礼として、「われわれが自分を愛する人たちのためになすことができる最善のことは、自分が幸福になることである。」を実践していきたいと思えます。
7	中学校	とても内容の濃い講習会でした。資料はA4ファイルにとじて、参考にしています。職場の仲間にもこのファイル(講座)の件を伝えたら、興味深く見ている先生方もいました。
8	小学校	新鮮な考え方を提示していただき感謝しているよい講習になった

NO.	学校種	回答
9	小学校	教師は「授業で勝負しろ！」「楽しい授業を！！」「生きる力とは！！」をしっかりと学ばせよ！！と教えていただきました。私が一番元気をもらった、大きな収穫となった貴校での講習でした。
10	高校	2日間ということで、長い気がしたが、講義の内容がとても興味深く、講師の先生のお話もとても面白かったので、2日間があっという間だった。交通アクセスについては、大学内に駐車場がないので、近隣の駐車場を探すのが大変だった。県外から来る受講生のためには、自家用車の駐車について詳しく連絡していただけると助かると思った。
11	小学校	開設講座名や講習スケジュールから想像していた講義とは全く違うもので、いい意味で期待を裏切ってくれた。自分の教育に対する迷いやもどかしさが、消えた。明るい希望を持って2学期に望みたい。ありがとうございました。
12	高校	※常識は本当に常識か？・教育活動においても教科書通りに進めることが常識なのか？・教科書に書いてあることだけで信じるのではなくおかしいと感じたら自分自身で確認するべき。・生徒を心配しないで信頼する などなど講習を受けて考えたり思い出したりすることができた。
13	小学校	夏休みに設定してもらい、助かった。
14	小学校	「子どもたちのために」ではなく、「子どもたちの立場に立って」これからの教職人生をがんばっていこうと思った。不登校の対応では、一番大切なことは子どもの命を守ることである。命を守るためなら不登校になってもそれはそれで認めなければならないなど奥深い内容で大変勉強になった。暑い中2日間にわたって授業を楽しくするために皿回しやブーメランなど色々な道具を準備してくださったり、資料もたくさん準備してくださり大変ありがたかった。学べたことに感謝しています。ありがとうございました。
15	中学校	楽しい時間を共有できてよかった。面白い講義だった。今後も最先端で突っ走ってください。費用については事前に分かっておきたかった。
16	高校	勉強になりました。ありがとうございました。
17	高校	非常に考えさせられる講習でした。自分の考え方がいかに一面的であったか良く分かりました。物事の別の面を見ようという気持ちになりました。中でも「ビリッかす 向きを変えれば先頭に」という言葉に、物事はとらえ方考え次第でどのようにでもなるのだと思ひ、別の側面はないかという事を考えるようになりました。2日間連続の講習だったので展開がめまぐるしく、考えが整理されないままで受講していたので、時間を置いて改めて内容を深めて行きたいと思ひます。長い間かけてできた自分の考え方は、簡単には変えられないと思うので少しずつ共感できる部分を取り入れて行きたいと思ひます。たくさんのお話、プリントを準備するのは大変だと思ひました。2日間ありがとうございました。
18	その他	・いろいろな教材、資料等の内容が充実してとても良かったです。また、内沢さんの楽しいお話にも元気をいただきました。ありがとうございました。
19	中学校	「生きる力」についてさまざまな角度から考える機会を作ることができた。特に「いじめ」に関する内容は、衝撃的であった。自分だったら、どのように対処していたであろうか。難しい内容ではあるが、これからもしっかりと考えていかなければいけない内容だと感じた。仮説実験授業などは、久しぶりに見ることでとても「ワクワク」した。内沢さんが、楽しそうに行っているのを見て、こちらも「ワクワク」したと思う。楽しい授業を行ってほしいと改めて感じる講義であった。
20	高校	大変勉強になりました。物事の考え方など生徒に還元していきたいと思ひます。ありがとうございました。

NO.	学校種	回答
21	高校	内沢先生2日間ありがとうございました。大変勉強になりました。”生きる力”私が育まれました。楽しい授業にも取り組んでいきたいと思ひます。力の湧いてくる講習であり、生徒と一緒に成長していきたいと思ひます。内沢先生、ありがとうございました。
22	高校	特になし
23	高校	二日間にわたり、内沢さんの講義を聞き、とても勉強になり、参考できるところは授業等で取り入れていきたいと思ひている。私は自分自身、色んな形で学びたいという気持ちがあり、好感が持てました。内沢さんは、非常識なことばかりと申していましたが、私自身全くそんな気持ちはないです。今の教職員に対して、私についてこいと言える人、私も相談に乗るからという上司はほとんどいないと思ひます。私は、二日間の講義を聞いて、自信と元気をもらった気がします。自分のやっていることに他人の目を気にすることがあり、思いこみ、先入観・固定観念があった様である。まず自分を変えることが大切であることを念頭に置けたらと思ひます。初日の講義のなかで「～らしいふりをする」という事に落ち着きも感じた。結果を出さないと焦りが出てしまう。「心配しないで信頼する」へつなげていくはずである。自分の息子に対しても、言い続けてしまえば反抗したくなるはずである。反抗は期待の裏返しであり、とらえ方を変えていけば気持ちも変わっていくと思ひます。2日目の楽しい授業のなかで、色んな実験等があり、興味を引かれた。総合的学習の授業や授業の一貫として導入できるのでは無いかと思ひます。また、各国の青年の意識調査の統計表を見た中でクイズ形式に実施されたが5問中1問しかあつていなかった。息子やクラスの生徒を思いだしながらよそうしたが、残念だった。日本は努力というモノを重視するのですねという感じだった。ただ、「学歴」の所だけは正解でした。学歴は親がこだわっており、国会議員・さらに桑田選手の事を思いだし、5番目と思つたところでした。また、いじめ問題では、いじめほどの社会でもあると思ひます。会社等では、責任という上司がいるが、そう言う人ほど無責任である。いじめは解決方法は非常に難しいが、教師自身、状況を把握し、学校・保護者等と上手く連携できればと思ひている。最後にこの免許更新は、年齢に達したから受講したという教員がほとんどだと思ひますが、内沢さんの講義を聞いて本当によかったです。資料等は参考にしていきたいです。部活等で時間が取れませんが、インターネットで内沢さんの事を見てみたいと思ひます。2日間素晴らしい講義ありがとうございました。今度別な所でお会いできる出来たらと思ひます。
24	高校	講義内容にも工夫が見られ、大変楽しめた上に、今後の教員活動における新たな考えを持たせてくれる講義でした。話の進め方、興味の引き方、そういった授業の技術面でも学べることができました。本当にありがとうございました。
25	高校	講義内容は平易だが、非常に含蓄があり、自分自身の教職生活を省みるうえで、有効な視点やヒントをいくつも提供していただいた。エレン・ケイの「教育の秘訣はことさらに教育をしないことである。」というよく知られた言葉のより具体的な解説を聞く趣もあつた。過度の一般化に陥りかねないのでは感じられる部分も一部にないわけではなかったが、それは、受講者自身が自分の教育実践の文脈に即して自由に解釈したり、検証したりすればよいことであろう。受講者をひきつける工夫もなされていて、そのなかには、自分の授業に採り入れてみたいと思ひうものもあつた。
26	小学校	いじめの問題や不登校の問題など、今聞いてみたいと思ひていた話が聞けて良かったです。また、「自分の教職人生を、主人公として生きる。」とか、「同じものが違っていて、違うものが同じ」とかいったものの考え方や見方をすることが大切なことがよくわかりました。
27	小学校	大変興味深い講義内容でした。初めて聞く内沢先生の講義の一言一句が心にしみりました。的確に教育現場の実態を踏まえた実践内容と発想の転換を表す格言集には、これからの自分の教員生活を生き抜く知恵がたくさんつまっているような気がします。問題は自分でいかに実践していくかです。たくさんいただいた資料プリントを大事に保管し壁にぶち当たった時は、プリントを読み返して解決のヒントを得ようと思ひます。この講座を受講できて良かったです。来年の受講者へ是非勧めたい講座でした。

NO.	学校種	回答
28	小学校	ありがとうございました。
29	高校	今までの常識が、本当は常識でなかったことが教育の世界でもたくさんあることから、講習会が始まり2日間が楽しく興味深い内容で終わり、今までにない研修を受講できた感想を持った。特に、教育では何もしないことが一番子ども達を育てることになるという先生の話聞いて、教育の成果は、きっかけを与える事で、後は子どもの自主性や創造力を育てた方が大きく伸びていくことになると、改めて考えさせられました。最近、高等学校の現場でも、いじめや不登校の問題が深刻になっていると思います。しかし、講習会では暗い話ではなく、明るい話であると聞き、なぜそのような考え方ができるのだろうかかと疑問を持ちました。それについて、対策を講じれば講じるほど状況が深刻になっていくことに、我々教育現場にいる者は真剣に考え行動しなくてはならないと感じました。講習会が終わった日に、大阪の小学3年生の事件があり悲しい思いがしました。これからは、教職生活の主人公になれるよう、自分流に頑張りたいと思います。
30	小学校	たいへん参考になる講義でした。
31	小学校	講習内容は、事前に知らされたものとずいぶん違いましたが、講義そのものは、共感をもって学習することができました。子どもたちの意欲を喚起する学習指導への取り組みの契機となりました。
32	小学校	○すんなりと受け入れられない考え方でも、それを常識や先入観という殻から出て視点を変えてみると「なるほど」に変わってくる そんな内容が印象的でした。欠点が長所に、長所が欠点になどいろいろな視点から観察・考察することの大切さを学びました。○魅力的な教材を時々提示されながら講義を進められていたところがよかったです。息を抜いてみたり、集中して学んだりすることができました。 ○たくさんの資料をいただきました。これからじっくり読み返します。○いじめと不登校のすすめは考え方としては納得しましたが、不登校に不安を抱いている保護者にうまく説明し、協力していただけるのが課題だと思いました。不登校の原因は様々なので、具体的な事例を通して保護者や子どもとの関わり方を教えていただけるとよいと感じました。
33	小学校	今回の講習では、様々な考え方を学ぶことが出来た。多面的な見方の大切さや、物事のとらえ方しだいで、同じ事象であっても受け方が変わり気持ちよく相手とのかかわりが出来ることを学ぶことが出来た。講習内容の中には、考え方を根本から変えなければならぬ内容もあった。これまでの経験や自分のこれからの教職生活の見通しをしっかりと見つめていきたいと思う。
34	小学校	「目からうろこ」とはこのことだなあと感じた講習会だった。教師自身を勇気づけてくれる内容だったので、気持ちが楽になった先生方が多かったんじゃないかと思います。本当にありがとうございました。
35	小学校	解決の道は自分の中にある—全ての人が自分の人生を主人公として生きること—これを徹底して実践していくことを学んだ2日間でした。「～のために」の発想からの脱却(自分にだまされない)と「～の立場で」を手がかりに絶えず自問していこうと思いました。講義中、時折???と思うことがありましたが、それは自分が自分にだまされていることに気づかないときでした。それにしても、200年以上前と人間は変わらないものだなあとびっくりしました。よりよく(裕福に・安全に?)生きたいがために「よかれ」と子ども・自分を追い立て、不確定な未来のために現在を犠牲にしているのだなあと感じました。不幸(=自己否定)の連鎖は恐ろしいものです。自分の今後の教職人生に一条の光を見いだしました。内沢さん、たくさんの貴重な資料とともに、楽しい2日間をありがとうございました。
36	中学校	特にないです。
37	小学校	講習会場まで自家用車を利用できずに不便だった。

NO.	学校種	回答
38	小学校	講義はこれからの学習指導に対する示唆に富んでおり大変役に立ちました。ありがとうございました。会場と受講者のバランスもよかったです。連絡もとても親切で丁寧でした。
39	中学校	「自分の教職人生を主人公として生きる」、「長所は反対側の欠点によって支えられている」などの言葉が特に心に残っています。今まで気づけなかったものの見方や考え方に触れ、新鮮な気持ちになりました。不登校傾向の子どもへの対応の3原則や発想を豊かにすることわざ・格言も勉強になりました。もっと柔軟にいろいろな考えや方法があっというんだなということに気づきました。人が人を変えようとするのではなく「自分のために」ということを考えて、教師も子どもももっと自分を大切にすることがお互いの幸せにつながっていくのだと思いました。また、チャイムやころころリング、フライヤーなど楽しい小道具も見ることができて、とても楽しかったです。内沢さんの熱弁から元気をもらいました。2日間本当にありがとうございました。
40	高校	楽しく活気ある授業で、2日間あっという間に過ぎました。元気のある先生にこちらも元気をもらい、いろいろな見方・考え方ができることを知りました。今後活かしていきたいと思います。
41	中学校	いろいろな資料をいただきありがとうございました。
42	中学校	今回の「生きる力を育むこれからの学校教育」の講習を受けて、ものごとを一面的に考えてはいけない事、様々な教育問題のほとんどが自分自身の考え方の中に問題がある事、そしてそれらの問題も自分の考え方や視点を変えることで解決していけることを知りました。また、二日間で読みきれないほどに準備していただいた資料も興味を引くものが多く、これからの自分の教育のあり方を考えさせるものでした。そして、今までの教育で常識として取り組んでいたことに対しても、本当にそれで良いのかという視点を持ってたり、子どもの立場に立った教育とはどうあるべきかを考えたりすることが出来ました。講習の仕方についても、いろいろな教材をもとに実演や体験、感想発表や活動を取り入れるなど、二日間の学習が「たのしい授業」になるように、講習を受ける人の立場に立って工夫されていてとても有り難かったです。おかげで、座り続けの時間も苦痛にはなりません。他の講習も、もっと私たちが考えたり体験できたり活動できる場面を取り入れたものにしていただけたらと思いました。
43	中学校	教職生活を振り返って、今までの教育活動を再認識し、これからの教育のあり方について考える機会となった。また、教授の斬新な考え方や研究の一端を垣間見ることでこのような考えもあるのかと私自身の視野を広げることや問題課題意識の提起になったのではないかと考える。鹿児島大学にこのような教授の方が在籍していらっしゃるといことも、今後の鹿児島大学卒の若手教師と共に教育活動に関わる中で意義あることだと思ふ。
44	小学校	これまでの研修では得られなかった理論や考え方を学ぶことができました。教育という一分野だけでなく、人間としての生き方を哲学的に捉えることができ、興味深く講義を受けることができました。資料も分かりやすかったです。教育についても、これまでの自分の固定概念を覆す契機となりました。これまで学力向上のために必死でしたが、別の視点から子どもの姿や教職という仕事について見ると、力が入りすぎていたことがよく分かります。まだまだ自分は勉強不足だということも感じました。大学の講習を受け、新しいことを学ぶ機会をいただけてとてもよかったです。ありがとうございました。
45	中学校	資料もたくさんあり、2日間とても楽しい講義でした。「相手のために」ではなく「相手の立場で」考える教育や「心配しないで信頼する」など考え方一つで大きく異なると感じました。これからの子どもたちの教育に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。
46	中学校	資料をたくさんいただけてありがたいでした。家で読み返すことができました。今までの自分の価値観や考え方を根本からくつがえされたようでした。周りの目に振り回されることなく、自分らしく生きることの大切さを教えていただいたような気がしました。とても参考になりました。ありがとうございました。回答が遅くなり申し訳ありませんでした。

NO.	学校種	回答
47	小学校	<p>2日間の講習、本当にありがとうございました。今回の講習は従来にない視点の講話が聞けて今後の教職生活のために新たな一枚が自分に加わったような気がしています。とにかく、内沢さん(事後アンケートでもこの方がいいのでしょうか?)のプラス思考が自分にとっては大変いい刺激になりました。そのプラス思考を支えているものはあらゆる物事を多面的に捉えられる柔軟な視点によるものだったと思います。今までも自分なりに「プラス思考で」という意識はあったのですが、今回の講習を受けてまだまだだったなあと感じました。また、同じように見たとしても、その捉え方、発想の転換が素晴らしく勉強になりました。このようなプラス思考に基づけば、子どもたちと接するときも、子どもたち一人一人が自分を肯定的に捉え、力強く生きていける基礎作りができそうなきがしており、今後の教職生活によりいっそう意欲を持ってのぞめるような気がしています。また、関連して「他に害を及ぼさない人間の有り様すべてに価値がある。」というお話も私自身が勇気をいただけた言葉でした。その「他に害をおよぼさない」という点で、例としてあげられた「知覧中いじめ自殺問題」はわたしたち教育現場にいる人間たちが陥りやすい問題を自覚するきっかけとなる話でした。その中で不登校に対する対応には自分自身も反省すべき点が多くありました。子どもたちが現状の辛さに対抗する術としての不登校。その心を汲み取ることなく、ただ一概に登校をうながすだけの対応もあったのではないかなあとと思います。ここでも生かしたいのが、多面的な捉え方によるプラス思考、発想の転換です。今まで以上に子どもの立場に立った考え方で接していけるようにがんばりたいと思います。2日間の講習でしたが大変有意義でした。機会がありましたら、またぜひお話をうかがいたいと思っています。</p>
48	中学校	<p>予想を上回る講義内容であった。今更この年で免許状更新講習を受けることに抵抗があったが、それを払拭する程に有意義なものであった。視野が広がり今までとは違う考え方もできるようになった気がする。常識を覆すような目から鱗状態でありプラスに仕事を進めていけそうな中身の深い内容であった。子どものためにでなく子どもの立場で行動することの大切さもわかった。楽しい授業の中に熱弁もさることながら、資料も今後行き詰まった時に側に置いて開いてみようと思うものが多かった。考え方の狭さがちっぽけな自分を作っているとも思え、今後の教職生活において何か大きな示唆を与えてくれた。直面している課題意識を反映し、興味関心をひく授業で飽きがこなかったのが一番だった。機会があったらまた受講したいというまさがあった。</p>
49	中学校	<p>必修でもお世話になった先生だったので講義の流れに関連性があるって心がけがしやすかった。講習内容は「出来事に対する視点の切り替えによる精神の前向きさの引き出し方」と感じ、現場での色々な出来事について励まされたように思える内容が多かった。しかし「自分が思いを変えられることができれば周りは関係するものではない」とはなかなか思い切れず...、理想と現実の狭間で悩みながらあきらめずに努力し続けるのが人間かな...、というのが現時点での自分の思いとなった。自分が印象に残った言葉は次のようなものだった。「悪事は善意から」「たのしい生活指導」「最後にだますのは自分」「人間には自分自身以外に敵はほとんどいない＝最大の敵はつねに自分」「いつもいつも勉強させるとだたらと勉強する習慣を身につける＝下手な勉強」「マッキーノ」「学校は牛乳」また、知覧中いじめ自殺事件に関する陳述書についても、自分が新採時に川辺地区にいてのできごとだったので改めて具体的な内容を知り衝撃的でもあった。しかしその学校現場での状況を読み進めるにつけ、自分の日常にもあり得そうなものにも感じ、状況を正しく感じる心を失わないようにしたいと思った。</p>
50	高校	<p>今回の、講師のかたの講義は、つい忘れがちな子供の知性を育む教育でなければならぬと心得ているつもりが目先だけを見ていたことに気づきました。子供に楽しみを与えながら、目標に近づく指導ができるよう今後努力して参りたいと思います。講師の先生には大変お世話になりました。ありがとうございました。</p>
51	小学校	<p>現場にいるときには考えていないような視点からの考えを知ることができた。また、大きな自殺事件の詳細についての説明もあり、われわれがどんな対応をしていけないかということでも、非常に参考にすることができた。</p>

NO.	学校種	回答
52	高校	知覧中学校いじめ自殺事件裁判の意見陳述書等具体的な教材が準備され、教育を巡る諸状況を論理的に教示していただいた。選択科目の講座にしては珍しく2日間連続の講座であったが、講師の先生の話術も巧みで退屈することなく集中して講義に臨めた。講師の先生が取り組んでいる「仮説実験授業」の文献も読んでみたい。この講座を受講することで教職生活を振り返るとともに、教職への意欲の再喚起、新たな気持ちでの取り組みへの契機となった。今後の教職生活の中でこれらの知識を活用し自らの実践に生かしていきたい。
53	小学校	1つの物事を多面的な立場から見て考えていくという基本的な姿勢の大切さを再認識することができました。今まで常識と考えていた思い込みや固定観念に対しても再度自分なりの視点で検証してみる必要があると気づかせてくれる大変有意義な授業でした。また、内沢先生もみんなが楽しめるような様々な工夫をしてくださり、授業を行う上でも大切なことを教えていただきました。本当に貴重な2日間となりました。ありがとうございました。
54	中学校	教委などの主催の講習会では受けられないような、良い意味で刺激的な内容であった。現場では確かに発想の転換が必要な場面が多いと思う。これからの教職生活で生かしていきたいと思う意義のある講習でした。
55	中学校	二日間の講習であったが、内容の充実したものだったために、時間の経過が早く感じられた。実演も多く飽きることなく取り組めた。特に今まで常識だと思っていたものに、縛られていたことに気付いた時には、今までの自分のもっていた価値観を変えることの重要性がわかった。また、知覧中のいじめ自殺事件の詳細について知り、衝撃を受けた。今までの教員生活を振り返り多くの反省点が見つかり、よかった。
56	中学校	2日間の講義で様々な示唆を与えていただきありがとうございました。特に印象に残ったのは「不登校は明るい話」という言葉です。これまで担任した生徒の中にも不登校生がいましたが、自分が「学校は行くべき場所・登校することが当たり前」という感覚で対応していたことがどれほど生徒・保護者に負担だったかと考えさせられ、「生徒のために」という独善的な考えを改め、生徒の立場でいろいろな課題に当たっていきたくて思いました。「逆説的消極教育論」「幸福論」「ことわざ・格言」も、折に触れて目を通し、自分の意識改革に役立てたいと思いました。これからも教職を続けていきたくて思っているので、力を注ぐ部分と力をなくす部分について考えながら、自分の教職人生を「主人公」として送っていきたくてです。
57	小学校	これまでの生活では、一般常識や教員の常識にとらわれていることが多いということに気づかされました。また、いろいろなものの見方や考え方があることや本物に接して自分の目で見るということの大切さも感じました。今回の講義を生かして、自分が自分の主人公となるよう意識して生活していきたいと思えます。2日間、お世話になりました。ありがとうございました。
58	中学校	内沢さんの講座は2回目の受講となりましたが「楽しい授業」をテーマに掲げていらっしやるだけあり、私たち受講生は2日間楽しく講義に参加することができました。内沢さんは興味関心を高めるためにいろいろな工夫をされていましたが、これからの授業の展開にヒントをいただきました。また、教師としての固定概念に捉われず、多面的な視野で生徒を見たり、物事を捉えるということを改めて認識しました。いよいよ2学期が始まりますが、気持ちを切りかえて頑張りたいと思えます。
59	高校	私の今までの知識や経験を覆すような衝撃的な講習であり、教員としての幅が広がった感じがしました。今講習をいかして、教育活動を行っていきたくて。有意義な2日間であった。
60	高校	他の研修では学べないことを学べた気がします。本当にこの講習を受講できて良かったです。これまで自分の中になかった理論・考え方・指導法を学ぶことができ、今後楽しく教職生活を送ることができそうです。機会があったらまた受講したい内容でした。

NO.	学校種	回答
61	小学校	「生きる力」が子どもたちに内在しており、それを自発的に発揮できるようにする(させるのではなく)という発想は、参考になるものであった。また、命を守るための「登校拒否」という考え方に納得することであった。さらに、他に害を与えなければ自由で良いというスタンスに、自分の学生時代を思い起こすことであった。たくさんの資料&クリアファイルを頂いて(500円お渡ししましたが…笑)ありがたかったが、講義の中でももう少しポイントを絞って話をしていただけると、さらに分かり易かったと思う。(話があっちこちに飛んでいくので、頭を整理できなかった…)あと、1日目の「感想」を2日目の最初に取り上げて話をするのはいかがなものかと感じた(感想は、自由記述＝個人の「思い」なのでは…?)。とはいえ、2日間という長時間(!)にわたり、大変お世話になりました。(皿は回せず、アンケートもビンゴも当たらなかったけど…涙)ありがとうございました。
62	小学校	これまでの教職生活の中で、悩んだり、困ったり、苦しんだりしてきたことが、今回の講習を受講し、気持ち楽になったように思う。見方や考え方を変えるということは、簡単なように見えて自分には難しいことであったが、自分の気持ちのもちようによっては、そう難しくはないと分かった。その点において、今後の教職生活に役立つ貴重な二日間であったと思う。
63	中学校	「楽しい授業(生徒指導等)」は、とても興味深く、得る物の多い講義である。なぜなら、「意欲」を喚起することで、教科への興味が大きくなり、より良く学習内容が定着するからだ。例として、学習者の感情が、次のようによりよく向上していく。楽しい→学習する→わかる→褒められる→もっとやる気が出る。もしも、「楽しくない」と、次のような感情になる。楽しく無い→やっているふり→わからない→怒られる→もっと楽しく無くなる。だから、今回の講義で学習した「楽しさ」を取り入れた授業をこれから行っていきたい。
64	小学校	非常に興味深い内容だった。発想の転換ができ、2学期からの指導が明るくなった。
65	中学校	まず、「常識とされていることを疑ってみる」という話から始まった講話は、一貫して自分で考えて判断するといった、新しい学習指導要領の基本理念と一致するものでした。また、生徒自身の自己肯定感や生徒の立場で考えることの大切さを学ぶことができました。実際の現場で、この考え方をもとに実行できるかはわかりませんが、普段から疑問に思っていたことに対しては、「…らしいふり」で対処できるか試してみようと思います。2日間ありがとうございました。
66	中学校	2日間非常に有意義な講座でした。これまで悩んでいたことも、考え方を変えるだけでこれだけ自分自身も楽になれるし、その結果生徒たちも元気が出るということがわかりました。楽しい授業もこれまでにほんの一工夫加えるだけで、実践することができることもわかり、実践するための具体的な方法(教材等)も紹介していただきました。今回の講座で教えていただいたことを、少しでも生徒たちに還元できるように頑張っていきたいと思います。内沢先生の講座をもっと受講したいと思いました。2日間本当にありがとうございました。
67	中学校	今までなかなか触れることのなかった視点で講義が行われ、今までの自分の価値観や学校現場の当たり前が本当に子どものためになっているのかなど考え直すきっかけになりました。興味深い2日間だったと思います。ただ、10年ごとの更新講習という形が教員の資質を高めるために効果的であるのかは、はなはだ疑問です。
68	高校	教師としてあるべき姿を考え直すきっかけを得た講習でした。資料も豊富で、講習終了後も活用できるものばかりでした。今後も学習を続けていきたいと思っています。
69	養護学校	全体的にいろいろな観点から物事をとらえる柔軟な発想力の大切さを勉強した気がします。2日間の講座でしたが、先生の講話は全然飽きず、熱心に受講することができました。また、たくさんの資料もいただき、時間を見つけてまた目を通したいと思いました。ありがとうございました。

NO.	学校種	回答
70	小学校	今回が最期の講習となったが、「生きる力」を育む学校教育と言うことで、とても楽しみにしていました。講義は、ただ話されるだけではなく、多くの資料と実践データをもとに、わたしの悩みや課題に届く話題と内容であり、とても勉強になりました。今後の教職活動で実際にどれぐらいのことができるかわかりませんが、積極的に取り組んでみようという気持ちになりました。最後に、今回の免許状更新講習は、30時間と、短いようで長いものでしたが、久しぶりに大学で学習したことは、とても新鮮でもありました。ありがとうございました。
71	中学校	教師として「当たり前」と思い込んでいることが、生徒を苦しめている場合があるということに気付かされた。今後は、いろいろな視点を持ちつつ、生徒と共に学校生活を送っていきたいと思う。講習では、たくさんの資料を提供していただき、ありがとうございました。
72	小学校	今回の講習も、いろいろな刺激を受けました。今回の講習「も」といいますのも、8月上旬の必修科目の講習でも本講習の講師の内沢たっちゃんサンのご講義を受講させて頂いていたからです。講習スケジュールをみて、いくらか重複する内容もあったのか・・と気付きましたが、先生のご配慮により必修科目で受講した者にもそうでない方々にもどちらにも過不足がないようにご講義頂いていたように思います。「たのしい授業」についても、「虹は何色か」の問いかけから始まりどんどんと展開し、まさにたのしい授業となっていました。いくつか例を挙げて頂きましたが、実際に学校現場で「たのしい授業」を実践されている先生の授業風景のVTR等を紹介して頂けると、またみなさんも一目瞭然といたかたちで理解が深まったかもしれません、どんなものでしょうか。また、ふだんそうそうきくことができないようなお話までして頂き、じいっと考え込みながら聴かせていただくことでした。かと思えば、あっと驚くような小道具・大道具も多々登場して、童心にかえったような表情を見せる受講生の皆さんの姿も印象的でした。エネルギーなたっちゃんサン、どうかご自愛されてお健やかにご活躍くださいませ。たくさんのパワーをいただきました。自分をじっくりと振り返る機会にもなりました。本当にありがとうございました。
73	小学校	大変楽しい2日間の受講でした。受講生が退屈しないような講義ありがとうございました。子どもたちのありのままに過ごさせることや宅習などの考え方は、自分自身としては、少し考えることでした。基礎学力をつけることで、「生きる力」が育まれるものではないかと考えると、やはりある程度宅習する習慣は必要になるのではないのでしょうか。子どもたちは「楽」をしたがりです。宅習をさせないと「遊び」に夢中になりすぎると思います。子どもたちにとっては、「遊ぶ」ことはとても大切なことだとは思いますが、宅習することも同じだと考えます。2学期は、先生のを自分なり考え取り入れ、「すなおな自分」の子どもたちを考えていきたいと思ひます。最後の講義の「いじめ問題」での知覧中の事件、非常にショックを受けました。あんなにひどいと思われる「いじめ」があったのに、職員が気づかず見過ごしていた事実残念です。二度とあのような悲しい事件を起こしてはいけないのに、昨年も発生してしまった事実、どう捉えればいいのかわかりません。子どもたちと2学期「害をあたえない」という指導をしていきたいと思ひます。ありがとうございました。
74	小学校	内沢教授の講義は、必修講義で初めてお聴きして、もっと聴きたいと思っていたので、大変充実した二日間となりました。暗いトンネルに入り込んでしまっているように感じていた教育の世界に、たくさんの光を差し込んでいただいたような思いがします。教育は、生き方そのものが問われているなあと、責任感に縛り付けられていたところでしたが、「幸福論」や「求めない」という多様な人生観を教えていただき、今の年齢だからこそ感じるものがたくさんありました。そして、命に関わること。いじめ自殺事件に関しては、陳述書を必死に読みました。内沢教授の思いを、全ての学校で、受け止めなくてはいけないのではと、思いました。とても貴重な講義をありがとうございました。
75	小学校	内沢さんの講義を聞きながら、自問自答をしていた。全てが納得できる訳ではなかったが、新たな視点で子どもや学校について考える、いい機会となった。ただ一方的に話すのではなく、マッチ箱や皿回し、写真や映像などを使って話をされていたので、楽しく講義を受けることができた。

NO.	学校種	回答
76	小学校	不登校に対する自分自身の考えが変わった気がします。「みなさんは、私に寄り添ってほしいですか。」この言葉は衝撃的でした。「何とかしなければ。」「自分に問題があるのだろうか。」等と思い、自分で自分の首をしめていた気がします。そこには教師のおごりもあったと思います。不登校は逃げではないということ、いじめの事例を通し知ることができました。これからの自分の生き方を、もっと自然体でやっていけば、そのことがかえってよい方向に向けていけると思います。自分は自分。そのままでもいいんだということ強く感じます。この二日間で、本当に救われた気がしています。ありがとうございました。今までなかったような講義で、現場の人間にとって、とても心安らく時間でした。ありがとうございました。
77	小学校	違った観点からの考え方・見方を学ぶことができた。いろんな考え方があるんだと思い、教師もいろいろいて当たり前で、いろんな考え方があるって、子ども達もいろんな人に出会い「生きる力」も育つのではないかと思った。でも、そうなると職場は共通理解ができず、たいへんかもしれません。
78	中学校	今回の講習では、これまでの自分の生徒指導に対する取り組みを反省させられました。知覧中学校のいじめ裁判の事例にあるように、生徒の表面的なことばかりにとらわれすぎていたような気がします。これからは生徒同士の人間関係について細かく観察したり、生徒の心にまで届くような接し方をしていくように心がけていきたいと思います。暑期中、2日間も熱心に講義をしていただきありがとうございました。
79	小学校	・土曜・日曜に参加できる人が多いという良さはありますが、いろいろな講義が平日にあるととってもいいかなと思います。夏休み期間中なので、研修で参加できます。・駐車場を確保していただくと大変助かります。今回、5日間(30時間)受講しましたが、駐車場代もかかります。大学に駐車スペースがあればいいのですが。・本年度、5日間受講しましたが、視野を広めることができよかったですと思います。母校の鹿大で受講したので、懐かしかったです。学生の時を思い出すことでした。・メール送信等ありがとうございました。大学の先生方や推進室の方々、お世話になりました。
80	中学校	この講義を受講して考えさせられたり、気付かされたことがありました。私は今まで、生徒とは「……であるべき」、「……でなければいけない」という思い込み・先入観・固定観念があったように思います。また、「心配」しないで「信頼する」ということに衝撃を受けました。この学んだことをいつも念頭におきながら生徒と接していこうと思います。これからの教員人生において貴重なものになりました。ありがとうございました。
81	中学校	講義はかなりおもしろく楽しいものであった。強制・強制が学ぶ意欲をそいでいる野ではないでしょうか。制度化するのは反対です。
82	小学校	二日間を通して【「生きる力」を育むこれからの学校教育】の講義を受講した。「たのしい授業」を実践するためのいろいろな方向からの視点で学ぶことができた。中でも、「いじめ」による自殺事例から見えてくる細かな人間関係を通して、「いのち」を守るための「不登校」や「登校拒否」に対する肯定的な考え方には、正直驚いた。これまで長年、自分なりに学んできた教育現場での実践や考え方、子ども達や保護者との関わり、同僚との人間関係等々、それなりの自負はあるつもりではいる。が、今回物の考え方や発想の転換の必要性を感じずにはおれなかった。がまんできないことを「がまんできない」と言えることの勇気こそ「生きる力」の根本的な人としての生き方、考え方なのかもと感じた。そのことの実現に向けて、これからの仕事を楽しみ、自分を主人公に周囲と関わっていかれたらと強く思う。
83	小学校	今回の講習を受けて、教育の新たな考え方を知ることができました。たくさんの資料をいただき、また、いじめや不登校問題では、実際の社会問題となっていることについての考え方や対応の仕方を改めて考えさせられました。教育現場で有効に使えるたくさんのヒントをいただき本当に感謝しています。ありがとうございました。機会があれば、またお願いします。

NO.	学校種	回答
84	中学校	内沢さんの2日間の講義興味深く拝聴しました。私は物事のいい悪いの両面に真実が隠れていると、曖昧に感じていましたが、絡まった思考の糸が秩序を持った線になり、とても生きやすくなりました。ありがとうございます。一つ、あの様に長時間たくさんしゃべるなら、講義中でも水をちょこちょこ補給されると、血液サラサラで長生きもできると感じましたがこれはひとりごとです。。
85	養護学校	今までの考え方がガラッと変わるようなお話をたくさん聞くことができ、肩の力が抜け、また仕事をがんばっていこうという気持ちになりました。特に、自分の人生を主人公として生きるという話にはとても感銘しました。楽しみながら子どもと仕事と向き合っていきたいと思います。まだまだお話を聞きたいくらいでしたので、また研修会等があったら参加したいと思います。
86	小学校	講義そのものは興味深いものだったことには違いないが、教員免許更新の講座としての視点から考えると適切でなかったかもしれない。特別支援教育に対する教授の考え、不登校児童・生徒に対する考えなど、独自の理論を展開するあまり、公平性に欠けていたように思う。他の講義との温度差もあった。
87	小学校	「生きる力」を育むこれからの学習指導というタイトルの講習でしたが、少し難しく感じました。指導してくださった先生のお考えは、いくらか理解できたつもりですが、それを直接学校現場で取り入れても、うまくいくのだろうかと思いました。しかし、「仮説実験授業」や「登校拒否のとらえ方」は究極「生きる力」に根ざしていると思います。そういった意味では、新鮮な刺激やこれまでの児童理解の仕方への反省になり、教育の原点を教えてもらったと思いました。ただ、「知覧の事件」の講習での取り上げ方は、適切だったのかという疑問は残りました。2日間の講習を受けて、私なりに「生きる力とは、たくましさである」という感想を持ちました。2学期以降の学習指導や生活指導で、一人一人の児童が、その子なりの「たくましさ」に気づいていけるようにしていきたいと思いました。たくさんの資料は、活用させてもらいたいと思います。
88	養護学校	今回の免許状更新講習を受講して、教育に関するいろいろな知識・情報を知ることができて非常に勉強になった。ニュースや新聞などで一通りの情報は頭の中に入れておいたつもりだったが、こういう状況の時、どう対応をすればよいか等参考になったように思う。特にいじめや不登校の内容について衝撃的だった。知覧中のいじめでは、新聞に載ってあること以上の内容を知ることができ、今後の参考になったように思う。もし、いじめが起きていじめられた子どもが学校に行きたくないということであれば、無理に学校に行かず、不登校という方法をとればよい。ただ単に嫌なことから逃げればよいのであって、人生の通過点にすぎない。自分も不登校という言葉はあまり良い意味として捉えてはいなかったが、今回の話を聞いて、かえって悪いというよりは良い言葉として響いてきたように思う。また、ルソーのエミールの中の「教育は何一つしないですべてを成し遂げる」の言葉があったが、現代社会・家庭・学校・教育などいろいろな面で当てはまっていると思った。昔の哲学書等に今後の課題に対するいろいろなヒントがあるのではないかと感じた。これから教育現場でどういう状況に立っているか分からないが、一日一日学んできたことをしっかりと教育活動に生かしていけるように頑張っていきたいと思う。
89	小学校	今回の「生きる力」をはぐむこれからの学校教育の講義は、子どもたちにだけではなく教師の私たちも生きる力をいただいた講義で、とても有意義でした。「物事を一面的に考えない。」という考え方を徹底して植え付けてもらいました。その考えの根底に、「負けるな、人間は弱いものなんだ。」というものがいっぱい感じられ、集中して聞くことができました。「アランの幸福論」では、対処法も教えていただき、逃げないで自分で切り開く意思の大切さも知りました。自分が主人公と思い、いろんなことにアプローチしていきたいと思います。最後に、知覧中の事件を振り返り、いじめに対する憤りが増すと同時に、なくす努力をしなければと反省することでした。素晴らしい講義をありがとうございました。

NO.	学校種	回答
90	小学校	「子供の立場で」「発想の変換」「先入観」「固定観念から抜け出す」など、考え方はこれから生かしていきたいことを多く学べた。ただ、現場の状況に即した質問に対し、最終的には自分の考えを変えなければ変わらないというだけでは、具体性がなく現状は変わらないと思う。
91	中学校	学校現場のことをよくご存じで、熱意があり、「愛」を感じました。私たち教職員は日頃、あまりにも真面目に考えすぎ、追いつめられていく仲間を目にします。先生の講義を聴いて、気が楽になりました。また、がんばろうと思いました。たくさんの貴重な資料と教材と笑いをありがとうございます。
92	中学校	ありがとうございました。大変興味深い話が聴けました。今後の参考にさせていただきます。
93	小学校	更新講習を受けるのは、今回が初めてでしたので、どのようなことがあるのかと少々緊張していましたが、教授の話方で緊張がほぐれ、2日間の講習もあっという間に感じました。「楽しい授業」そのものだったと思います。また、これまで考えていなかったことを話していただき、教員としてだけでなく、母親としての自分を振り返るよい機会になりました。ありがとうございました。
94	小学校	とても充実した内容で学びの多い2日間でした。「不登校」に対する考えが変わりました。こうしなければならない、こうするのが当然だ、という教科書通りの考えで実践してきた私には、衝撃的でした。一日目にはなかなか理解することができなかったのですが、2日間学ぶことができ、先生のお話分かるようになりました。今までとは違った角度から見たり考えたりすることで、今までの思考が広がり、多くのことに気づかされました。今まで思いもなかった物の見方や考え方は私にたくさんの道を示してくれました。これから出会うたくさん子どもたちと実践していきたいと思います。「生きる力」を育む楽しい授業をたくさん作っていききたいと思います。ありがとうございました。
95	小学校	大変有意義な二日間になりました。ありがとうございました。
96	小学校	内沢教授の講義は、新しい目を開かせてくれる素晴らしい内容でした。この講義を受けたことで、自分の心に少しゆとりが生まれたような気がします。また、すぐには自分を変えていくことはできないかもしれませんが、子供たちと過ごす時間を「子供たちのために」とがんじがらめになることなく、楽しく過ごせるように心掛けたいと思います。この講義で教えていただいた色々な言葉は、1つ1つ納得させられるものがありました。この言葉も自分の教員生活の宝物にしていきたいと思います。私たちのために色々な心遣い、準備をしていただき、本当にありがとうございました。
97	中学校	急に楽器が鳴ったり、卵が飛んできたりなど工夫が随所に見られ、飽きのこない講義であった。また、不登校やいじめ、虹の話も興味を引く部分が多かった。
98	高校	非常に楽しい講義であった。今後、自分が生徒たちに対して、どのように接して、どのように自分を見せて行けば良いのかということを考えさせられた。改めて、生徒あってこそその教育、一定の価値観の押しつけではなく、様々な価値観があることを認めた上で様々な接し方があるということがわかった。
99	高校	楽しい授業が意欲を育てるということに対して、学習できたことが良かった。知覧中いじめ自殺事件に関する陳述書の内容を読んで考えさせられました。
100	小学校	事前にシラバスをプリントアウトして臨んだ講義だったが、それとは全く違った内容であった。だが、とても人間味あふれる先生の姿に、勉強になる部分がたくさんあった。不登校問題やいじめ問題など、考えはいろいろあるだろうが、今後の指導の中で参考になる要素や考えなければならない要素はたくさんあった。

NO.	学校種	回答
101	高校	<p>教員を8年経験した後、現在の寮母に着任し2年経つ。この講義で、教員の頃熱心に指導するあまりに「生徒のため」と強制的にさせていたことや、不登校生徒を迎えに行っては無理にでも車に乗せ登校させたことを反省した。一日目の段階では不登校を全面的に受け入れることなんて無理だと考えていたが、陳述書に目を通しての二日目の講義で不登校の必要性を強く感じた。現在の寮母では、保護者に近い立場として不登校生徒を容認はしているものの「これでよいのか」と不安を感じるが多かった。しかし、今回の講義で「これでよい」という答えを見つけることができた。寮生は親元を離れての生活に何かしらの不安を抱いている。それが不登校やどんな形であれ現れたとしても「生徒のため」に動こうとするのではなく、自然に容認できる自分であろうと思う。</p>
102	中学校	<p>今回、はじめて鹿児島大学の内沢教授の講義を聴くことができました。授業の力によって(生徒に自己存在感を与えることによって)生徒指導は機能するという考えや、いじめを原因とする不登校に対しては、登校刺激を与えない方がよいという考え方には共感がもてました。私は教材研究が好きです。内沢先生が紹介してくださった、出版社の本を早速購入したいと思います。ただ、市販されているものが少ないようです。部活動の指導や校務に追われて、教材研究にける時間が例年よりも少なくなっていました。それを言い訳にせず、初心に戻って教材研究に貪欲に取り組みました。この講義は初心に戻る良い機会になりました。</p>
103	中学校	<p>二日間を通して、新発見の連続で、大変、有意義な時間になった。特に、不登校、いじめに対する考え方は今までとは少し違った角度から見つめることができるのではないかと思います。教職経験十年という節目を迎えた今だからこそ必要な見方ではないかと思います。今後の教育活動において今回の講義の内容を活かしていきたい。また、自分自身の生き方にも活かすことができるものも多々あった様な気がする。一人の教育者として、また一人の人間として自分を大切にしながら生活をしていきたい。今回の内沢先生のご苦勞に感謝します。ありがとうございました。</p>
104	小学校	<p>生きる力の育成との大きなテーマであったが、講師の様々な角度からの実践的視点から切り込まれた講話であった。これまでの自身の教育観を見つめ直す機会をいただけた講話であり、受講してよかったと感じる。また、資料準備や教材準備等受講者の立場に立った講座になるようご配慮していただいたことにも感謝する。</p>
105	小学校	<p>講師の質問に挙手して、指名された参加者が応答する参加型学習を取り入れた楽しい講義でした。講師の説明だけでなく、参加者の考えも聞くことができ、大変参考になりました。また、参加者の質問にも分かりやすく回答されたことも良かったです。不登校やひきこもりの社会的問題に対する対処法なども刺激的で、今後の対応に参考にしてみたいと思います。子供の意欲や自信を高めることが、本当の生きる力を育む教育だという考え方に賛同します。私の今後の教師生活に刺激を与えていただきました。</p>
106	中学校	<p>たくさんの資料を用意していただき、とてもありがたかったです。また、生徒の意欲を育てるための授業法や、現在の教育界をとりまく問題などを知ることができ、とても刺激になりました。ありがとうございました。</p>
107	高校	<p>担当教授のユーモアあふれる人柄で、非常に惹きつけられるお話で、長い講義ではありましたが、まったく時間を感ぜさせないほど充実したものでした。また、今後の参考となる資料が豊富でしたし、教師である前に自分を見つめなおすよい機会になりました。ぜひぜひ、たくさんの教員がこの講義を受けていただくよう願います。内沢さん、2日間有意義な時間をありがとうございました。</p>

NO.	学校種	回答
108	中学校	<p>2日間の講習を通して、たくさんの資料や道具、授業のアイデアをありがとうございました。「虹は何色か」というところから始まり、知覧中のいじめ問題まで内容の濃い講習でした。虹は7色と子どもの頃からそう思って疑いませんでしたが、じっくり見てみると7色には数えられませんでした。あの講習の日の帰り雨が降ったあと虹が出ていたので、朝の講習を思い出して何色か数えてみました。やはり5色か6色かというところでした。これまでは虹は7色という固定観念がありましたが、物事をじっくりと見てみるとそうとは限らないんだと思いました。知覧中のいじめ問題は痛ましい内容でしたが、どの学校でも起こる他人事ではない問題です。今回の講習でどのような背景があったのか実際に話を聞いて、ほんの少しでも知ることができてよかったです。勝己君が学校を休める状況にあれば、命を絶つことには至らなかつたかもしれません。最初、内沢さんがおっしゃっていた「登校拒否は明るい話」ということがピンとこなかつたんですけど、この件をとおして考えると、この「明るい話」ということが分かるような気がしました。とても印象に残っている言葉が「子どものために」と考えるのではなく、「子どもの立場」で考えることが大切であるということです。常日頃、「こうすれば子どもたちのためになるのではないか」ということを考えながら授業をしたり、教育活動をしたりすることが多いです。でも「子どものために」と考えると、決めつけたり、押しつけたりということになってしまう、うまくいかないときは子どものせいにしてしまうということが思い当たるところもあり、納得するところでした。確かに子どもの立場で物事を考えるということが大切なんだと感じました。2日間、いろいろな話を聞くことができて、とても有意義な研修になりました。普段自分が見ていたもの、考えていたことが、視点を変えると別の見方ができるということに気づき、とても楽しかったです。今回、多くの資料をいただいたので、それもぜひ読んでいきたいと思っています。2日間ありがとうございました。</p>
109	中学校	<p>正直なところ、当初、できたら専門教科を受講したいと考えていました。ただ、申込期日が遅かったためにそれが叶いませんでした。それで、来年度に回そうかとも考えましたが、教科以外の内容の講習であっても、興味のありそうなものを受講してみようかと思いなおし、講習の名称や概要を参考にこの『「生きる力」を育むこれからの学校教育』を選びました。お世辞抜きに、示唆に富み、本当に為になりました。受講させていただき幸運だったとつくづく思います。今後教員生活を送る中で認識しておくべき考え方の基本を新たに指示していただきました。私自信考えていることと重なる部分かなりもあり、そういうときにはわが意を得たりと、内心したり顔をしたりし、またそれでいいんだ、そういう風に考えて突き進んでいいんだとお墨付きを頂いたようにも感じました。もちろん、私自身が表面的にしか捉えていなかったこと、わかっているつもりでいたが深いところで理解できていなかったことなど多くのことを教えていただきました。多くの「気づき」があり、思索の森に入り込んで授業を受けさせていただきました。常に学び続ける姿勢が必要だ、そしてそれを活かす、実践する行動力も必要だ、などなど考える機会を与えていただきました。感謝です。内沢さんのエネルギー・パワフルな姿勢など、言葉では言い尽くせませんが、内沢さん自身の姿そのものも勉強になりました。こういう先生がおられることを知ったという意味でも収穫が大きいです。鹿児島大学の学生が羨ましく思います。久しぶりに、大学でまた一時の間ではありましたが、また学びなおすことができましたこと幸いに思います。本当に本当に有難うございました。</p>
110	小学校	<p>素晴らしい講義だった。これまでの教職生活を振り返り、反省する良い機会になった。本当に良い勉強になりました。</p>
111	小学校	<p>生きていくために必要な「学欲」について考えさせられた。生きていくいろいろな道を子どもたちに伝えること、学校という現場のあり様についても考えさせられた。教師が手をかけすぎたり一生懸命になりすぎていたりするために、児童生徒の逃げ場や自ら判断し選択し動いていくための能力を出せずにいるのかもしれない。講義終了に大阪で小学校3年生の女児が自殺、高知で小学校5年生の男児が虐待死のニュースを耳にし、不登校や子供の人権について考えさせられた。「休んでもいいよ。」「今までよく頑張った」と大きな心で選択できる道をおしえてあげらるとよいと思う。心配することばかりでなく信頼し、それぞれが主人公となり楽しく笑って過ごしていくことを願いたい。</p>